

花 橘

佐田岬は興味深い

生徒課長 成本 幸一

発行日

令和5年4月27日

第2号

発行・編集

三崎高校総務課

ある日、妻との会話の中で妻が「〇〇〇〇〇」という言葉を発することがありました。私は何のことか分からず問い返すと「可哀想」だという意味だと教えてくれました。「どここの言葉。」と聞くと、「実家ではよく使っている。」と言っていました。私と妻の実家は、同じ佐田岬半島内にありますが、地域による違いを感じた場面でした。

これをきっかけという訳ではありませんが、『三崎町誌』があることを思い出しました。昭和60年に発行されたもので、その中には方言に関する記述もあったので、いくつか紹介したいと思います。あらかた(大体)、いね(帰れ)、うも(美味しい)、おらぶ(叫ぶ)、がんぎ(石段)、けえや(来なさい)、せからしい(忙しい)、はあい(こんにちは)、ようけ(たくさん)、わいら(あなた達)、わやく(悪戯)などです。私が幼いころに聞いたものもありましたが、今では使うことはないだろうと思われるものもありました。この『三崎町誌』には歴史や産業、生活、文化、教育など様々な分野に関することが書かれていて地域を知る材料となりました。また、佐田岬に関することをインターネットで調べていると、「えひめの記憶」というページにたどり着きました。ここでは、地域の方々から聞き取った内容のものも含まれていて、地域のことをより知る機会となりました。地域の方々とコミュニケーションをとるには、さらに地域のことを学習しないといけないと感じました。高校がこの地にあることに感謝したいと思います。

豊かな体験活動

令和5年度が始まって約3週間が経過しました。授業や部活動が本格的に始まり、少しずつ新しい生活に慣れてきた4月17日に豊かな体験活動を実施しました。全校生徒が通学路である国道197号線や未咲輝ロード(学校へ登る坂道)で清掃活動を行うものです。青空の下、汗をかきながら草引きやゴミ拾いを行いました。とある生徒は、未咲輝ロードの壁に生えたコケを一生懸命に落としながら、「ここをきれいにしてスプレーアートをしたい！」と語っていました。全校生徒のみなさんのお陰で、通学路がとてもきれいになりました。ありがとうございます。



こいのぼりまつり

5月5日(金)に三崎公民館二名津分館にて「こいのぼりまつり 2023」が3年ぶりに開催されます。本校の吹奏楽部も華やかな演奏で盛り上げます。今年最初の校外イベント参加になりますので、お時間のある方は是非、生徒の活躍をご覧ください。